

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：澤本 ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（『新編 文学国語』（大修館書店））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A単元 明日をひらく 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深める。	・「少なくとも最後まで歩かなかった」（村上春樹） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 物語の読解を通して、他者との関わり方や自分自身の高校生活について考える機会としている。	○	○	○	5
B単元 明日をひらく 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、筆者の考えを読み取るとともに、自分自身にも目を向けより良い生き方について考えを深める。	・「そとみとなかみ」（角田光代） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 【読むことJ】において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
C単元 古典の世界1 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 笑話を読み、オチにつながる展開を的確に捉える中で、そのおもしろさについて考える。	・「星取り」 ・「尻の飴食ひたること」 ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○		○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 笑話を読み、オチにつながる展開を的確に捉える中で、そのおもしろさについて考え、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
D単元 詩を味わう 【知識及び技能】 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 詩を読むことに興味を持ち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わう。	・「道程」（高村光太郎） ・「永訣の朝」（宮沢賢治） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○		○	【知識及び技能】 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 詩を読むことに興味を持ち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わっている。	○	○	○	6
E単元 小説を楽しむ(一) 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取る。	・「ナイン」（井上ひさし） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1

2 学 期	F単元 名作を読む(一) 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深める。	・「山月記」(中島敦) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○	○	○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	G単元 小説を楽しむ(一) 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取る。	・「晴れた空の下で」(江國香織) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取るようとしている。		○	○	8
	定期考査						○	○		1
3 学 期	H単元 古典の世界2 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取る。	・「竹取物語 かぐや姫の昇天」 ・「伊勢物語 月やあらぬ」 ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取るようとしている。		○	○	6
	定期考査						○	○		1
	I単元 社会に生きる 【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の特徴ある表現に興味をもち、仕事や自然に対する描写を読み取る。	・「神去なあなあ日常」(三浦しをん) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の特徴ある表現に興味をもち、仕事や自然に対する描写を読み取るようとしている。		○	○	6
	J単元 社会に生きる 【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	・「鞆」(阿部公房) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取り、考えを深めている。		○	○	7
K単元 古典の世界 【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉える。	・「枕草子 はしたなきもの」 ・「徒然草 手のわるき人の」 ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用		○	○	【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えるようとしている。		○	○	4	
定期考査						○	○		1	
合計										
78										

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数： 単位
 対象学年組：第 3 学年 組～ 組
 教科担当者：（A組：角皆）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（改訂 新編化学基礎 東京書籍）

教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に
 【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、結果を分析して解釈し表現
 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする！

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的な見方や考え方を養うことで、化学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。	主に化学な事物・現象から問題を見だし、見通し・目的意識をもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、化学的に探究する力を養う。	主に化学的な事物・現象に主体的に関わり、日常生活や社会との関連を図りながら化学や化学現象への関心を高め、化学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	化学とは何か 【知】化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思】化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【態】化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・身のまわりのさまざまな化学 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】化学の特徴について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【態】化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	物質の成分と構成元素 【知】化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の概念を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思】化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【態】物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・物質の成分、物質の構成元素、物質の三態 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【態】化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	原子の構造と元素の周期表 【知】物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の概念を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思】物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。 【態】原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子の構造、電子配置と周期表 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【態】原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
定期考査と1学期のまとめ			○	○		3	
2 学期	A 化学結合 【知】物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の概念や原理・原則などを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思】物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。 【態】物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合、化学結合と物質の分類 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【態】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	A 物質と化学反応式 【知】物質と化学反応式についての実験などを通して、物質、化学反応式の概念や原理・原則などを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思】物質と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、物質、化学反応式を見出して表現する。 【態】物質、化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子量・分子量・式量、物質、溶液の濃度、化学反応の表し方、化学反応式の表す量的関係 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】物質と化学反応式についての実験などを通して、物質、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】物質、化学反応式について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【態】物質、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査と2学期のまとめ			○	○		3
A 酸と塩基 【知】化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】酸・塩基と中和について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【態】酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・酸と塩基、水素イオン濃度とpH、中和反応と塩の生成、中和滴定 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】酸・塩基と中和について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【態】酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9	

3 学 期	A 酸化還元反応 【知】化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思】化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出して表現する。 【態】酸化と還元に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・酸化と還元、酸化剤と還元剤、金属の酸化還元反応、酸化還元反応の応用 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】酸化と還元について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【態】酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				9
	定期考査と3学期のまとめ			○	○		2
							合計 78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 組～組
 教科担当者：（A組：松澤（組：）（組：）（組：）（組：）（組：））
 使用教科書：（現代高等保健体育）

- 教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能および健康・安全について理解できるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かにし継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】手軽な運動を行い、心と身体は互いに影響し変化することを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かにし継続するための課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】互いに助け合おうとすること、一人ひとりの違いに応じた動きを大切にすることができる。	○体づくり運動 ・体幹トレーニング ・ストレッチ ・筋力トレーニング	【知識・技能】自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための運動の行いについて言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	B 卓球 【知識及び技能】ラリーの中で状況に応じて打ち返す位置を変化させたり、相手の打った球に応じて適切に打ち返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】相手を思いやり、相手のペースに合わせた球を返すことができる。	○卓球 ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】球を相手側のコートの守備のない空間に強弱や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】自己の課題を見つけ、改善するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとしているとともに、相手を思いやる行動をしている。	○	○	○	8
	C バドミントン 【知識及び技能】状況に応じたラケット操作によって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとする。	○バドミントン ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】シャトルを相手側のコートの守備のない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】仲間や自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとしているとともに、フェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	10
	D 体育理論 【知識及び技能】スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通してスポーツを継続するとともに明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○体育理論 ・文化としてのスポーツ ・スポーツにおける技能と体力	【知識・技能】仲間と運動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	○	○	○	8
	E バレーボール 【知識及び技能】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】チームや自己の課題を発見し、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや互いに助け合い高め合おうとすることができるようにする。	○バレーボール ・パスの種類について ・サーブについて ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】仲間と運動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。				10

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者： (菊池 信隆)

使用教科書： (実教出版 図説情報 I 新訂版)

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会における主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技術を見つける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を考える力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション	1. 中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査 2. コンピュータの起動や終了方法 3. 自己紹介などの文章を作成し、共有フォルダに保存する実習 4. コンピュータ教室でのマナー	・コンピュータの起動と終了ができる。 ・自分のフォルダ内に実習課題を保存することができる。			○	7
今までの情報技術とこれからの情報技術	1. 情報と情報社会の特徴 2. 情報化の進展と情報技術 3. 情報社会における個人の責任	・データと情報の違いについて理解し、事例をあげて説明することができるか。 ・IoT、人工知能(AI)の意味とその活用について理解しているか。 ・位置情報サービスなど各種サービスの光と影を理解した上で、適切な活用ができる技能を身に付けられたか。	○	○	○	9
定期考査						1
1 学期 1 問題解決	1. 問題解決の手順 2. 情報の収集と整理 3. 情報の分析 <表計算ソフト>	・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解しているか。 ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けているか。 ・問題解決のためのグループでの取り組み(ブレインストーミングなどの議論)に、積極的に参画しているか。 ・情報を効果的に分析し、まとめる方法について理解したか。	○	○	○	11
2 情報社会における法規と制度	1. 情報の管理と保護 2. 知的財産権と産業財産権 3. 著作権	・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利(プライバシー権、肖像権、パブリシティ権)について学習できたか。 ・知的財産権の概念(知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成)について学習できたか。 ・知的財産権の問題に関し、自らWebサイトで調べるなど、主体的・意欲的に取り組んでいるか。	○	○	○	5
定期考査						0

2 学期	3 情報セキュリティと個人が行う対策	1. 認証とパスワード 2. 情報の暗号化 3. コンピュータウイルスと対策	・個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について理解したか。 ・安全性の高いパスワードとその管理について理解したか。 ・ネットワーク上での暗号化通信や無線LANでの暗号化対策について理解したか。 ・コンピュータウイルスなどマルウェアの概要と対策について理解したか。	○	○	○	7	
	4 メディア	1. メディアの機能と特性 2. メディアリテラシー	・メディアの機能と特性について理解したか。 ・メディアの分類や情報メディア、表現メディア、伝達メディアの特性について理解したか。 ・メディアリテラシーやクロスチェックの考え方について理解したか。 ・さまざまな情報メディアの特徴について理解したか。	○	○	○	9	
2 学期	定期考査						1	
	5 コミュニケーション	1. 効果的なコミュニケーション 2. インターネット上のコミュニケーション	・コミュニケーションの定義、手段、形態について理解したか。 ・インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について理解したか。 ・インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリット(即時性、利便性、保存性、匿名)について理解したか。	○	○	○	9	
	6 情報デザインと表現の工夫	1. 情報デザインの考え方 2. 表現の工夫	・デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて理解したか。 ・身のまわりにある、文字や音声、図やイラストによる情報で使われている工夫について理解したか。	○	○	○	5	
	定期考査						0	
3 学期	7 情報の表し方	1. デジタル表現の特徴 2. 2進数と情報量	・アナログとデジタル、デジタルデータの特徴(情報の正確な再現・情報の加工の容易さなど)について理解したか。 ・情報量、ビット、バイト、2進法、2進数について理解したか。	○	○	○	5	
	8 コンピュータでのデジタル表現	1. 数値の表現 2. 文字のデジタル表現 3. 音の表現 4. 画像の表現 5. 動画の表現とファイル形式	・コンピュータ内部での数値(2進数、16進数)の表現について理解したか。 ・コンピュータにおける文字コード、文字のデジタル表現について理解したか。 ・音のデジタル化、周波数(ヘルツ)、標準化・量子化・符号化、標準化周期や標準化周波数について理解したか。 ・ファイルの種類(音・画像)について理解したか。	○	○	○	8	
	定期考査						1	
							合計	78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 ビジネスコミュニケーション

教科：商業 科目：ビジネスコミュニケーション 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：（重光）

使用教科書：（『ビジネス・コミュニケーション 新訂版』（実教出版））

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して、自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 ビジネスコミュニケーション の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際のビジネスにおけるコミュニケーションと関連付け、ビジネスの様々な場面で役に立つコミュニケーションに関する知識と技術を身に付けている。	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見するとともに、コミュニケーションに関する理論、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。	自らコミュニケーションについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にビジネスにおいて日本語や外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養っている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション 1編 1章 企業の組織と人間関係	1. 企業の組織と意思決定 2. 業務の進行方法 3. 仕事に対する心がまえ 4. 人的ネットワークの構築	・組織の構造と意思決定の関係を理解する。 ・業務の適切な進行方法やそれを実践する重要性を理解する。 ・業務の効率化に必要なスケジュール管理方法を理解する。 ・社会人としての心構えと良好な人間関係を築く必要性を理解する。 ・人的ネットワークや顧客との信頼関係を構築することの重要性を理解する。			○	8
2編 2編 2章 応対に関するビジネスマナー	1. 挨拶 2. 身だしなみ・表情・身のこなし 3. 言葉遣い 4. 名刺交換と紹介 5. 訪問・来客の応対 6. 電話の応対 7. 席次のマナー	・場面に応じた挨拶やお辞儀を理解し、実践する。 ・身だしなみ・表情・身のこなしなどを理解し、実践する。 ・敬語やコミュニケーションの言葉など、適切な言葉遣いを理解し、実践する。 ・名刺交換の方法と紹介のルールを理解し、実践する。 ・訪問・来客の対応などを理解し、実践する。 ・電話対応における適切なコミュニケーションを理解し、実践する。 ・席次のマナーについて、場所や立場に応じた適切な行動を理解し、実践する。	○	○	○	8
定期考査						0
3章 交際に関するビジネスマナー	1. 交際のマナー 2. 食事のマナー	・冠婚葬祭の基礎知識、贈答・慶事・弔事などのマナーについて、場所や立場に応じた適切な行動を理解し、実践する。 ・食事のマナーの基本、西洋料理・日本料理・中国料理・立食スタイルでのマナーについて、場所や立場に応じた適切な行動を理解し、実践する。	○	○	○	12
4章 接客に関するビジネスマナー	1. 接客 2. ホスピタリティの概念と重要性	・効果的な接客に必要な知識や態度について理解し、実践する。 ・ホスピタリティについて理解し外国人に対する接客の注意点について考察する。	○	○	○	2
定期考査						1

2 学 期	3編 5章 コミュニケーションの役割と思考 方法	1. コミュニケーションの役割と種類 2. ビジネスコミュニケーションの基本 3. ビジネスにおける思考方法	・ビジネスコミュニケーションの役割と種類を学 習し、その重要性を理解する。 ・ビジネスコミュニケーションの場面と心得を理解 する。 ・論理的な考え方とビジネスにおけるフレーム ワークを理解する。	○	○	○	8
	6章 ビジネスにおけるコミュニケー ション	1. ディスカッション 2. プレゼンテーション 3. 交渉 4. 苦情対応 5. 商品説明とワークショップ	・ディスカッションの方法や意義を理解し、討論 することができる。 ・プレゼンテーションツールを使い、分かりやす い発表を行うことができる。 ・交渉、苦情対応など場面に応じた適切な行動 を理解し、実践する。 ・店頭やネットショップ、ワークショップにおける効 果的な商品説明について理解し、実践する。 ・ディベートの方法を理解し、主体的に活動に参 加する。 ・ディスカッションの方法や意義を理解し、討論 することができる。 ・プレゼンテーションツールを使い、分かりやす い発表を行うことができる。 ・交渉、苦情対応など場面に応じた適切な行動 を理解し、実践する。 ・店頭やネットショップ、ワークショップにおける効 果的な商品説明について理解し、実践する。	○	○	○	8
	定期考査						0
	7章 コミュニケーションとビジネスス キル	1. 会議 2. 文書におけるコミュニケーション	・会議の目的と種類、基本的な流れや会場設 営、議事の進め方や議事録の作成方法など について理解する。 ・文書の種類と内容、社外文書・社内文書の作 成方法、電子メールの利用、はがきや封筒の書 き方や郵便物の特殊なサービスなどについて理 解する。	○	○	○	8
	4編 8章 企業活動のグローバル化	1. 国際化の進展とビジネス 2. 国際ビジネスにおけるコミュニ ケーション	・市場の国際化、ビジネスシーンの国際化につ いて理解する。 ・ビジネスに必要な英語について自ら学び、ビジ ネスにおける外国人への対応に主体的かつ協 働的に取り組む。 ・ノンバーバルコミュニケーションの重要性につ いて理解する。 ・コミュニケーションツールとしての英語について 理解する。 ・ビジネスに必要な英語について自ら学び、ビジ ネスにおける外国人への対応に主体的かつ協 働的に取り組む。	○	○	○	6
定期考査						1	
3 学 期	9章 ビジネスの会話	1. 国内での接客 2. 入国 3. 商談と会議 4. 帰国	・国内で外国人を接客する際に必要となる英語 について実務に即して理解する。また、関連する 技術を身に付ける。 ・外国に入国する際に必要な英語について実務 に即して理解する。また、関連する技術を身に 付ける。 ・商談や会議を行う際に必要な英語について実 務に即して理解する。また、関連する技術を身 に付ける。 ・ホテルのチェックアウトから空港での出国手続 に至るまで帰国の際に必要な英語について実 務に即して理解する。また、関連する技術を身 に付ける。	○	○	○	7
	10章 ビジネスにおけるプレゼン テーション	1. プレゼンテーションの構成 Structure of Presentation 2. プレゼンテーションの作成 Making a Presentation	・ビジネスにおけるプレゼンテーションの基本構 成について理解する。また、プロジェクタやレー ザポインタ、オーディオ機器など、プレゼンテー ションに必要なツールを利用する技術を身に付 ける。 ・英語によるプレゼンテーション(スライド)の流れ を理解し、さまざまなシーンで利用できる基本 的なフレーズを身に付ける。	○	○	○	8
	定期考査						1
合計							78

令和8年度「総合的な探究の時間」の全体計画

1 「総合的な探究の時間」の校内での名称（実施学年ごとに記入する）

第2学年『総合（探究）』	第3学年『総合（探究）』	第4学年『総合（探究）』
--------------	--------------	--------------

2 学校の教育目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 学問を愛し、真理を探究する精神を養い、生涯を通し知性の向上に努めさせる。 ② 情操を養い、明朗で清純な品性と礼節ある態度を培う。 ③ 正義と平和を愛し、心身ともに健全で実行力のある人間を育成する。 ④ 個性を伸長し、自主的精神を培うとともに、自己の社会性を自覚させる。 |
|---|

3 各学校において定める「総合的な探究の時間」の目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通してよりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。 ② 学び方や考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に創造的に取り組む態度を育て、己の在り方・生き方を考える。 |
|---|

4 生徒・学校・地域の実態

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 本校在校生は、義務教育期の不登校経験者が多い。だからこそ学び方やものの考え方を身に付け、主体的創造的に取り組む姿勢やコミュニケーション能力を育みたいと願っている。 ② 地域・保護者は、本校を丁寧な生活指導を実施する学校と認知し、入学後は心身ともに健康で望ましい生活習慣を育成して欲しいと願っている。 |
|--|

5 指導体制（実施学年ごとに記入する）

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 週時程への位置付け方（曜日・校時）及び授業時間数、単位数 <ul style="list-style-type: none"> 2 学年 金曜日・3校時 1 単位時間45分とし、39 単位時間 3 学年 金曜日・3校時 1 単位時間45分とし、39 単位時間 4 学年 金曜日・3校時 1 単位時間45分とし、39 単位時間 ② 授業時間確保の方法 特定の期間に集中して実施しない。 ③ 校内の指導組織 <ul style="list-style-type: none"> 2 学年 2 人、3 学年 2 人、4 学年 2 人、計 6 人の専任教員で担当する。 ④ 学習の評価 <ul style="list-style-type: none"> 2 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。 3 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。 4 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。 ⑤ 評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 2 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。 3 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。 4 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。 |
|---|

6 育てようとする資質や能力及び態度

- ① 基礎基本を重視し、学び方やものの考え方を習得することを通して社会の状況に応じてその力を活用する。
- ② 横断的探究的学習を通して、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。
- ③ 自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

7 内容（学習対象、学習事項）（実施学年ごとに記入する）

<学習対象>

- ① 『総合（探究）』第2学年
 - 1 学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座。社会への貢献と進路選択について探究する。
- ② 『総合（探究）』第3学年
 - 1・2 学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座。社会への貢献と進路選択について探究する。
- ③ 『総合（探究）』第4学年
 - 1・2・3 学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座。社会への貢献と進路選択について探究する。

<学習事項>

- 興味関心を見出し、進路に応じた課題に取り組み、自ら学び考える資質や能力を育む。調査研究結果の発表、進路選択の方法

8 学習活動

- ① 第2、3、4 学年『総合（探究）』

生徒自身が課題を設定し、それについて調査・研究を行っていく。また進路について考えることや、職業について考えるために横断的・総合的な講座に取り組み、自己の在り方・生き方を探究する。

9 指導方法

協働的な学習の充実を図り、一人1台端末を利用するなど情報活用能力・生成AIの活用能力の育成に向け、個に応じた指導ができるように少人数構成にしている。

10 各教科等との関連

- ① 【国語】言葉による見方や考え方を、授業でレポート作成とともに学習していく。
- ② 【地歴・公民】地域の様々な文化や歴史を理解し、地歴総合の授業で学習していく。また、民主的な考え方や社会とのかかわりについて、公民の授業で学習していく。
- ③ 【保健体育】生涯を通じる健康の考え方や労働についてなどを、保健体育の授業で学習していく。
- ④ 【家庭】生活の営みに係る見方・考え方や具体的な消費生活などを、家庭の授業で学習していく。
- ⑤ 各教科で学習したことを基礎として、人格の完成や社会生活に生かしていくことを総合的な探求の時間につなげる。定期的に検証を加え授業力向上の校内研修を実施する。

11 外部との連携

- ① 本校ホームページを活用して地域・保護者に広報し、年間1回の授業参観及び研究協議会を実施する。
- ② 城北中央公園管理センターとの連携を図る。

令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3学年)

1 単位時間の時間(45)分 『総合的な探究の時間』

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	事前指導 課題設定	講座内容・評価方法の説明 1、2学年の成果を踏まえ、新たな取り組む課題を設定させる。	出席、意欲などを総合的に評価	2
	5	身の回りの地域について考える。	自分たち学校周辺について、継続して情報を収集し整理・分析し自己の考えを深化させる。		3
	6	社会貢献について考える。	身の回りの地域に対して継続して社会貢献について考え、自己の考えを深化させる。		2
		ガイダンス	調べ方ガイダンス・課題設定		2
	7	調査・研究	設定した自己の課題について調査・研究を行う。		3
2	9	調査・研究	設定した自己の課題について調査・研究を行う。	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	3
	10	調査・研究	A4版に研究内容の概略をまとめる。		4
	11	研究論文作成	研究論文を作成する。		5
	12	研究論文作成	研究論文を作成する。		4
3	1	研究発表	研究論文の作成及び発表。	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	4
	2	振り返り	振り返りを行い、自己の取り組みの確認を行う。		4
	3	課題の設定	1年間の取り組みをまとめ、次の課題を設定する。		3
配当時間数の合計					39